

研究所だより 3月号

くろしお

発行:黒潮町教育研究所

幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)

TEL 0880-55-3190 Fax 0880-55-3850

Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/>

梅が咲き、モクレンが咲き、桜も咲き始め、…春が来ました。

卒業・修了…区切りのときです。四月から始まる新たな生活に、希望が湧いてくるようなしめくりにしたいですね…。

平成25年度の黒潮町研究所だより「くろしお」も最終号になりました。みなさんのお役にたつような情報をお伝えできればと思ってきましたが、なかなかタイムリーな話題が提供できず少々反省…ですが、1年間おつき合いいただきありがとうございました。

かくかくドキドキ学級開き

間もなく平成24年度が終わり、約2週間の春休みが明けると平成25年度がスタートします。

新1年生はもちろん、進級する子どもたちも胸を躍らせて登校してくるでしょう。

学級開き…みなさん色々と工夫を凝らし、子どもたちの気持ちをつかむ準備をされる

ことと思います。そこで、研究所が今年度参加した研修会中から、学級開き・学級づくりの参考になる資料をご紹介します。

Part 1

学級集団作り第一段階【4月第1週】

① ルールの設定

◇学級のビジョンを確認→学級目標の設定

② 人と関わるうえでのスキルの指導

◇基本的なあいさつ・聞く態度など

③ 児童生徒のサポート

◇孤立する児童生徒を教師がサポート

④ 教示的かわり

◇交流や活動の仕方

◇多様な2人組の活動



ビーイングも活用できる

※人間関係づくりに活用できるSGE(構成的エンカウンター)PA(プロジェクトアドベンチャー・心の冒険教育)などの資料もいただいています。学級開きで活用してみませんか。教育研究所 中屋までご連絡ください。

特別支援教育の視点に立った学級づくり

☆スクールスタンダード
☆授業のユニバーサル化
☆クラスワイドな支援から個別支援へ

○児童のニーズ

1) 生活上のニーズ

クラスのルールの確立⇒学校のスタンダードに

2) 学習上のニーズ

授業のユニバーサルデザイン化

スタンダードの作成方法と留意

- ① 誰もが生活・学習しやすい環境づくり
- ② スタンダードは学校全体の支援の基準
(手本・規範・規律)
⇒全校共通にして身につけさせる
- ③ 児童生徒の視点で生活を見直す
- ④ 支援方法を統一することで成果が上がる
- ⑤ 児童生徒の不安や不公平感を解消する
⇒安心して活動できる
動き方がわかるので時間は短縮させる
- ⑥ 学校全体(全教員)で一人一人の児童
生徒を育てる
⇒学級の様子をオープンにする
児童生徒の育ち(発達課題)と
学び(学習課題)を共有する

授業のユニバーサルデザイン化

① バリアフリーとユニバーサルデザイン

特別な人
分けられた

全ての人
みんな一緒

② 授業のユニバーサルデザイン

特別な教育的ニーズのある子ども
には「ないと困る」支援であり、どの
子にも「あると便利」な支援

連絡事項

○ALT訪問について

- ・ 次の月の訪問予定日・時間を確認(前月の25日まで)
※確認の仕方については、後日外国語担当の先生に連絡いたします。
- ・ 授業プランの提出(授業日の1週間前まで)
どちらも教育研究所に提出してください。